

芦屋市ウォーターPPP 導入可能性調査  
第 1 回民間市場調査（アンケート調査）の結果について

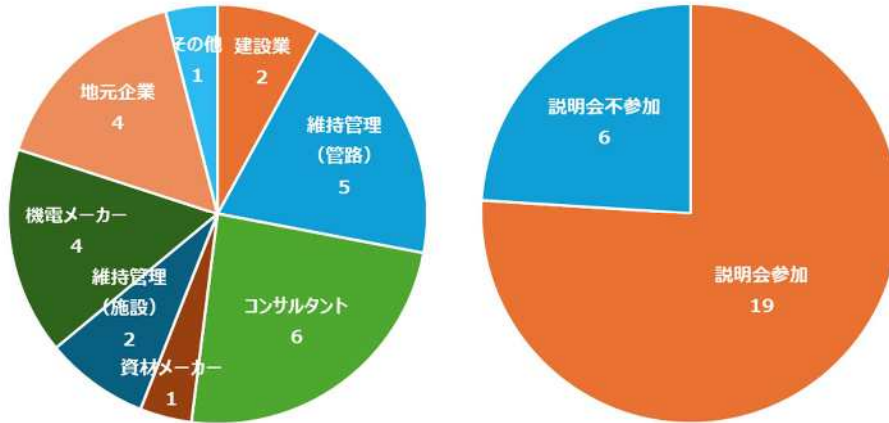
1. 募集期間と方法

募集期間：2025 年 10 月 23 日～2025 年 11 月 14 日まで

方 法：芦屋市ホームページ及び Ge マッチング（（公社）日本下水道協会）、日本 PPP・PFI 協会ホームページにアンケート調査事業概要、ウォーターPPP 導入検討に関する説明資料、アンケート調査表を掲載

2. 回答者数とその内訳

回答者の属性については 8 種類に分類しています。また、2025 年 10 月 23 日に開催した説明会には 21 社に参加いただき、うち 19 社から、説明会に参加されていない方からも 6 社から回答をいただきました。



3. 調査結果

3.1. 芦屋市ウォーターPPP 事業に対する参入意向について

- ✓ 25 社中、「参入または参入検討をしたいと思う」と回答した企業は 11 社、「現時点では不明」と回答した企業は 13 社でした。
- ✓ 「参入または参入検討をしないと思う」と回答した企業は 1 社でした。



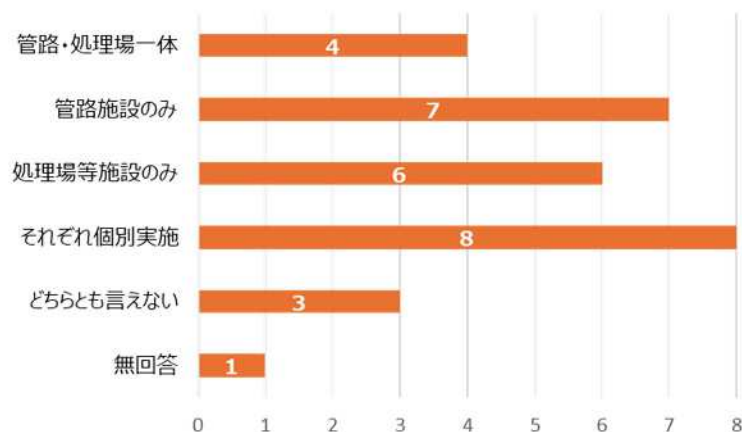
### 3.2. 希望する対象施設について【複数回答可】

- ✓ 「管路施設」と回答した企業は 17 社、「処理場等施設」あるいは「ポンプ場」と回答した企業は 11 社でした。
- ✓ 「芦屋処理区」と「南芦屋浜処理区」での回答の違いはありませんでした。
- ✓ 市内でサービスレベルが異なる事態を避けるため、全域で実施すべきとの意見がありました。
- ✓ 処理場施設の業務を専門とする企業から処理場等施設をウォーターPPPの対象とすべきではないとの意見もありました。



### 3.3. 対象施設の組合せについて【複数回答可】

- ✓ 「管路施設」と「処理場等施設」の一体での事業の回答は少数でした。
- ✓ 個別実施を希望する企業からは、業務内容や関係事業者が異なるため一体的な事業運営では調整負担や運営上の影響を懸念するとの意見がありました。
- ✓ 一体的な実施を希望する企業からは、対象範囲を拡大することで人員融通などの効率化の余地があるとの意見がありました。



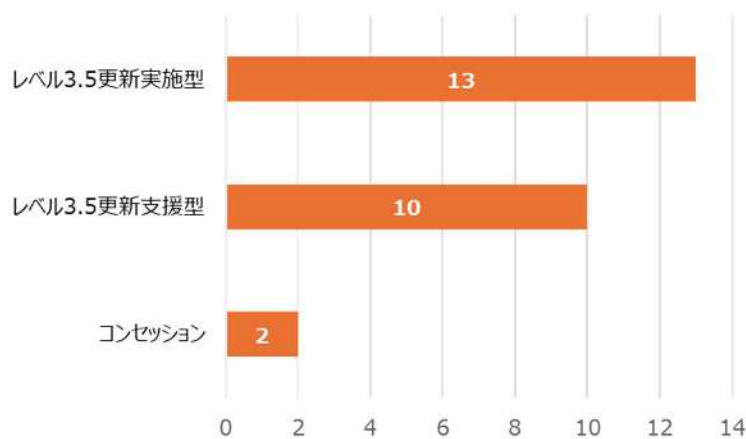
### 3.4. 希望する事業方式について【複数回答可】

#### <更新支援型と回答した理由>

- ✓ 維持管理主体の更新マネジメントの観点では、更新支援型が基本となるのでは。
- ✓ これまで包括的民間委託等の実績がなければ、更新支援型から始めるのがいいのでは。
- ✓ 市職員の技術継承の観点では、更新支援型がいいのでは。

#### <更新実施型と回答した理由>

- ✓ 地元企業と連携した更新工事を実施することで、緊急対応や日常維持管理を担う地元企業の持続性に寄与できると考える。
- ✓ 維持管理情報を基に更新計画案を立てて更新工事を実施することで、効果的な更新・効率的な事業運営が可能になると考える。



### 3.5. 参入の検討における懸念点について【複数回答可】

- ✓ 「中小企業や市内業者との連携が不安である」、「施設の劣化状況が不明確である」、「管路と処理場の一体化に不安がある」等が主な懸念として挙がっています。



#### <その他の意見>

- ✓ 地元企業の活用は必須であり、要求水準書等で規定していただくことが望ましい。
- ✓ 大規模な陥没事故等、民間事業者では負うことができないリスクもあるため、適切なリスク分担となるよう配慮していただきたい。
- ✓ 民間企業のノウハウや新技術等が活かせる案件形成を望んでいます。
- ✓ 発注に際しては、費用・期間に余裕を持っていただくほか、官民の対話機会を複数回設けていただくようお願いいたします。
- ✓ 長期契約になることで物価高騰リスクがあるため、物価変動による契約価格見直しができる契約条件としていただきたい。